

平成29年第3回長与町議会定例会総務文教常任委員会会議録（第6日目）

本日の会議 平成29年9月19日

招集場所 長与町議会議場（第1委員会室）

出席委員

委員 長	岩永政則	副委員長	分部和弘
委員	浦川圭一	委員	中村美穂
委員	金子恵	委員	喜々津英世
委員	山口憲一郎	委員	堤理志

欠席委員

なし

職務のため出席した者

議会事務局長	谷本圭介	課長補佐	細田浩子
--------	------	------	------

説明のため出席した者

議会事務局長	谷本圭介		
(議事課)			
課長	富永正彦	係長	後藤理子

会計管理者	谷本清
(会計課)	

課長補佐	森本陽子
------	------

農業委員会事務局長	和田弘
(農業委員会)	

課長補佐	村田佳美	係長	森雅之
------	------	----	-----

本日の委員会に付した案件

議案第61号 平成28年度長与町一般会計歳入歳出決算の認定について

開会 9時28分

散会 11時06分

○委員長（岩永政則委員）

皆さんおはようございます。早速、議案第61号平成28年度長与町一般会計歳入歳出決算の認定についての件を議題といたします。議会事務局からの説明を求めます。

最初に局長から。

○議会事務局長（谷本圭介君）

皆さんおはようございます。議会事務局の平成28年度一般会計決算書の歳入歳出の御説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。以上です。

○委員長（岩永政則委員）

富永課長。

○監査事務局長兼議事課長（富永正彦君）

おはようございます。それでは平成28年度長与町一般会計決算書の事項別明細書の方から説明をさせていただきます。事項別明細の44、45ページをお開き下さい。歳入になります。45ページ下から9行目、議会運営議会活性化調査研究視察経費補助金7万4000円、これにつきましては県の町村議長会の視察研修の旅費の補助金ということで、1年交代、議長が行ったら次は事務局職員ということで交代交代に1年おきに研修がっておりますけども、28年度は職員ということで私の方が行かせていただいております。旅費は各町村で旅費規程が違いますので、実支出額10万5,600円という旅費でございましたけども、これの3分の2を県の議長会が補助をするということで7万4000円を雑入で受け入れております。歳入については以上です。

次、歳出の方に参ります。48、49ページをお開き下さい。1款1項1目議会費でございます。まず1節報酬でございますけども議長報酬以下全議員16名分の議員報酬でございます。5,150万4,000円を支出いたしております。2節給料は局長以下4名分の職員分でございます。3節職員手当につきましても1番下の議員期末手当を除きまして同じく職員分でございます。議員期末手当におきましては御承知のとおり28年度0.1月分の増額がございましたので、総額で1,663万1,500円ということで前年度よりも53万6,500円の増という形で支出を行っております。4節共済費ですけども1番上の共済組合負担金が職員4名分でございます。下の3つ議員共済会事務費負担金、議員共済会給付費負担金、公務災害補償負担金につきましては、議員の皆さんの共済負担金並びに公務災害補償の保険の負担金となっております。7節の賃金はパート賃金、こちらの方につきましては会議録作成のためにパートを2名定例会ごとをお願いをしております。3月議会と9月議会が会議録のボリュームが多いということで、3月議会と9月議会におきましては2か月ずつ、6月と12月につきましては1か月ということで、2名体制で会議録の作成をお手伝いいただいております。8節報償費でございます。講師謝礼ということで29万4,970円の支出をいたしておりますけども、こちらの方につきましては独自研修でトーマツの公会計研修、それとタブレットの研修、報酬特別委員会の方で江藤先生に来ていただいております。この3件分で

ございます。旅費につきましては普通旅費、研修旅費については職員分、費用弁償につきましては議員の定例会、委員会、視察、議員研修、それからアカデミー等々議員に掛かる移動経費についてはこの費用弁償537万800円ということで支出をいたしております。議長交際費につきましては45万5,874円ということで寸志等、寸志、祝いが一番多いですけども40件で24万6,080円、あと香典が9件、カンパが2件、視察研修等の土産代として4件、計55件の支出をいたしております。需用費につきましては経常的な経費でございます。12節役務費、郵便料につきましては広報広聴で住民アンケートを行った分の郵便代をこちらで支出をしております。14節につきましては経常的な経費でございます、大きなものは会議録作成支援システムのASP使用料142万5,600円と、次のページにまいります、赤外線のマイクシステムリース料55万7,280円ということで経常的な経費となっております。次に19節負担金、補助及び交付金でございますけども、こちらの方につきましても経常的な経費ということで昨年と同様になっております。

以上が議会事務局所管の分でございます。御審議のほど、よろしく願いいたします。

○委員長（岩永政則委員）

説明が終わりましたので質疑を受けたいと思います。歳入歳出いずれでも結構です。金子委員。

○委員（金子恵委員）

49ページの1番下段で会議録作成支援システムASP使用料ということで142万5,000円、これは会議録の作成が今まで神戸の方に頼むと時間が掛かるということで導入をされて2、3年になるかと思うんです。これに対してパート賃金も発生をしてくているということで両方合わせて220万ぐらい、これによってその会議録の作成が、以前おられなかったというはあるかもしれないんですけど、スムーズになっているというふうにお考えかどうかお聞きしたいと思います。

○委員長（岩永政則委員）

富永課長。

○監査事務局長兼議事課長（富永正彦君）

確かにこのシステムを導入する以前と比べますと、パート賃金を含めると実際は合計支出額は大きくなってます。ただ皆さん御承知のとおり基本的には音声を録音したらすぐインターネットを通して送って、大体録音時間と同じぐらいの時間を置けば戻ってくる状態になります。ですから皆さんの方でも委員長報告とか音声データ含めたところで、ワードのデータ、粗ですけども、そこまでが一応できるのが早いと、その部分では十分総額は大きくなりますけどもメリットになっているというふうな認識ではおります。

○委員長（岩永政則委員）

金子委員。

○委員（金子恵委員）

確かに待たなくてもすぐ確認ができるというメリットはかなりあるかというふうに感じているところですが、今度これが完成してサインをいただいてネットにアップするということになると、なかなか特別委員会分がアップされるのが以前からするとかなり遅かったりと思えるんですけど、そちらの方は今後改正というか早目のアップを考えていくというふうなことはどう御検討されてるのでしょうか。

○委員長（岩永政則委員）

富永課長。

○監査事務局長兼議事課長（富永正彦君）

ホームページアップがちょっと時間掛かって皆様に御迷惑をお掛けしております。ただこのシステム導入前は2か月以上絶対掛かってたんです。でき上がるのに。それを考えると、今のところは定例会の本会議の部分につきましては、大体1か月ちょっとでアップをしているつもりでおります。委員会の方がそれに続けて2か月以内で上げたいということで今頑張っております。特に特別委員会が入ってくるとその分も手間が掛かるといいますか、時間を食ってしましまして、本会議の部分が若干間伸びてしまう部分がございますけども、その辺りはできるだけ職員も一生懸命頑張って打ち込みをしておりますので、なるべく本会議の分については1か月を目途に、委員会については2か月を目途にということで努力をさせていただいております。以上です。

○委員長（岩永政則委員）

浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

歳出のうち、この議会だよりに係る経費、この需用費の中の印刷製本費とかかなとは思いますが、正確に議会だよりにどれくらいの中で掛かってるのかというのを願います。

○委員長（岩永政則委員）

富永課長。

○監査事務局長兼議事課長（富永正彦君）

議会だよりににつきましては11節印刷製本費の124万2,322円、これ全て議会だよりの印刷製本費でございます。以上です。

○委員長（岩永政則委員）

浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

この金額で年4回。1回毎の発行部数を教えていただけますでしょうか。

○委員長（岩永政則委員）

富永課長。

○監査事務局長兼議事課長（富永正彦君）

発行部数につきましては1回1万4,000部、世帯配布を見込んで多目に1万4,0

00部を印刷しております。以上です。

○委員長（岩永政則委員）

浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

8節報償費で当初予算10万円、補正をして最終的に29万5,000円になってるんだと思うんですが、9月に10万円の補正をされて、後のこの9万5,000円の補正がいつの時期にされたのか、ちょっと私が見落としかもしれないんですが、そこ分かりましたら答弁を願います。

○委員長（岩永政則委員）

富永課長。

○監査事務局長兼議事課長（富永正彦君）

お尋ねの分については、流用で対応させていただいております。

○委員長（岩永政則委員）

浦川委員。

○監査事務局長兼議事課長（富永正彦君）

流用だったらここには出てこんどですよね。どこからどのように流用したかだけ教えていただけますか。

○委員長（岩永政則委員）

富永課長。

○監査事務局長兼議事課長（富永正彦君）

流用元につきましては9節費用弁償の方から流用をさせていただいております。

○委員長（岩永政則委員）

堤委員。

○委員（堤理志委員）

49ページの会議録作成支援システムの部分で、同僚議員からも質問が出ておりましたけれども、事情は御説明いただいたことで粗方分かるんですが、今後についてなんですが、言われるようにやはり、より早く公開ができれば、なお良いなというふうに思うんですが、そのネックになってるのが何なのか、1つはまず支援システムの方で会議録の粗ができてくるそのところがネックなのか、それとも事務局の方でその内容を確認して正確なものに打ち替えるという、結構神経と労力が掛かる作業があると思うんですが、このどちらの方がネックになってるのかお聞かせいただければと思います。

○委員長（岩永政則委員）

富永課長。

○監査事務局長兼議事課長（富永正彦君）

どちらがネックともちょっと言いがたい部分がございます。今パートにさせていただいてる部分につきましては、堤委員が言われた粗で戻ってきた部分、それをとりあえずは

音声を聞きながら聞こえた通りに変換をしていただく、ワードの方ですね。それが出来上がった段階で、次職員の方に来て職員の方で音声と文字をもう1回確認をします。そして管理職、課長、局長の方で最終をもう1回、ですから3回処理を掛けているような形になっています。この辺りを手を除けば抜けるんでしょうけども、これを三重を二重にすればその分の時間短縮というのは可能かもしれませんが、なるべく、特に本会議の分についてはやはり精度を上げておきたいというのがございますので、その辺りは今のところは先程言いましたように本会議で1か月、委員会で2か月というラインで、基本的には作っていきたいということで考えておるところでございます。以上です。

○委員長（岩永政則委員）

分部委員。

○委員（分部和弘委員）

今に関連しますけども、私も音声よく聞きながら今回いろいろ資料作ってるんですけども、職場環境という形では、今の現状で本会議中は議員が出入りしている中で本当にスムーズにいったるのかなというところがあるんですけども、そこら辺はどのように感じてますか。

○委員長（岩永政則委員）

富永課長。

○監査事務局長兼議事課長（富永正彦君）

私は昨年度、28年度から議会事務局に監査がついてきたような形になって総枠としては1人増えた形になっております。ですから我々の不慣れな部分を除けば、それ以前4人体制でしたから事務局の職員としては立ち回りがしやすくなってるというふうに思います。ただ監査の業務は増えてるという形になりますけども、人員の配置的には昨年度以前よりは動きやすくなってるんじゃないかなということでは考えてます。以上です。

○委員長（岩永政則委員）

他にありませんか。

堤委員。

○委員（堤理志委員）

ちょっとどうしても気になるのが、このシステム使用料の部分でお伺いしますが、聞くところによると一旦音声を変換して返ってくるデータそのものの精度がもう少し高ければその後の職員が、パート、職員もかなり労力が改善してスピードアップにつながるかと思うんです。それでこの作成支援システム自体、通常いろんなソフトとかコンピューターの世界というのはどんどん精度が上がっていきますよね。このシステム自体というのは、そういう精度をアップさせる更新というのは、例えば契約の中でそういったことが可能とか、そういった話というのは出てこないものなのか、いかがでしょうか。

○委員長（岩永政則委員）

富永課長。

○監査事務局長兼議事課長（富永正彦君）

私も昨年度からなのでまだ1年間しか見ておりませんが、以前からいる職員の話をお聞きすると、バージョンアップは随時されていて精度はじわじわ上がってきていると、手ごたえを感じているというところで話は聞いているところです。以上です。

○委員長（岩永政則委員）

他にありませんか。

喜々津委員。

○委員（喜々津英世委員）

議長交際費のところでお聞きしたいんですが、去年よりも約10万ばかり増えたという、ただ、これについても45万程度、予算の半分ちょいですが、従来からずっとこういう予算の組み方をしとったと思うんですが、そろそろ実態に合わせた予算の組み方そういったことも必要でないか。それと、それぞれ1万円やったり5,000円やったりあると思うんで、55件で平均すると8,000円ちょい、8,300円近くなるわけですが、改めて議長交際費の予算の総額にしろ、内容にしろ、見直す時期に来るとるんじゃないかなと思うんですが、この辺はどういうふうにご検討されるのか。

○委員長（岩永政則委員）

富永課長。

○監査事務局長兼議事課長（富永正彦君）

交際費予算額につきましては、29年度で減額、28年度と比べますと減額をさせていただきます。あと支出の項目についてでございますけれども、まだ私も1年目ですので詳しく分かりませんが、基本的に例年支出をしている部分については、前年以前に準じて支出をしてきているような感じで考えているところでございます。以上です。

○委員長（岩永政則委員）

喜々津議員。

○委員（喜々津英世委員）

いろいろ案内を受けた時に、例えば体育協会関係でいけば、いろんな大会をする時に御祝をいただいたりする。それからまた別に飲食を伴った案内を受けて会費相当額をやる。いろんなやり方があると思うんですが、特に大会等に参加して御祝を下さる。それはそれで結構なんですけど、少しそこら辺の見直しは必要があるんじゃないかなという気がしてきます。基本的にやっぱり町長がやってるので議長も、というのがあってもいいかもしれませんが、もらう側が、あっちこっちに案内を出して幾らかでもたくさんもらった方が、それぞれの組織のためになるという思惑が働いて案内をするということは間違いないと思うんですが、少しやっぱりそこら辺は町長部局との関連もあるし難しいかもしれませんが、1件ごとにやっぱり拾い出してみて、そろそろそういう部分での見直しをする必要はありはしないかなという思いがあるんですが、ここら辺について考えをちょっと聞かしていただきたいと思っております。

○委員長（岩永政則委員）

富永課長。

○監査事務局長兼議事課長（富永正彦君）

委員おっしゃられることも十分分かります。確かに言われるように体育協会絡みの大会が半分までいかないですけども1番ウエイトは占めてるのかなということで考えております。それとあと町長部局との関連ですけども、一応町長が出しておいて、同じような形で議長にも案内が来ると。議会を代表して議長がそこに挨拶なり出席をするということになってまいりますので、その辺りはちょっと検討が必要かなと町長部局とも話を1回してみようかなということで考えております。以上です。

○委員長（岩永政則委員）

喜々津委員。

○委員（喜々津英世委員）

町長がするからせんばいかんということは、やっぱり考え直さないといけない。町長の交際費は300万もあるんですよ。議長は80万ですよ予算が。そうすると同じようにそれをやるということ自体がもうここでその予算の裏づけから見ても、やっぱり少し考え直さないといけないという理由はそこなんですけども、もう一度お願いします。

○委員長（岩永政則委員）

谷本局長。

○議会事務局長（谷本圭介君）

委員おっしゃるように交際費に関しましては、必要かどうかちょっと悩んだ時は今の時点では必ず秘書広報課の方に確認して、執行部、町長あるいは副町長はどうされているかというのを確認して判断をしている状況でございますが、言われるように元々の予算が違いますし、呼ばれる回数も内容も違うと思いますので、今後その点については秘書広報課の対応も含めまして、いろんな協議をして改善の方に努めてまいりたいと思っております。以上です。

○委員長（岩永政則委員）

他にありませんか。

中村委員。

○委員（中村美穂委員）

49ページの共済費の議員共済会給付費負担金、これは昔あった年金制度の負担分かと思えます。去年は3,500万ぐらいだったのが今年は2,000万ということで、昨年もお伺いをしたんですけども、この受給される方とか一括で受け取りになられる方とか、全国の組織であるので、そういう負担ということになると思うんですが、今後はやはりもう減っていくというような見方でよろしいのでしょうか。

○委員長（岩永政則委員）

富永課長。

○監査事務局長兼議事課長（富永正彦君）

委員おっしゃられるとおり基本的には退職議員の方は減っていきますので総額は減っていく形になります。ただ、その給付に掛かるお金を今現在の全国の議員の数で割りますので、議員の数が減れば1人あたりは増えるという形になってきます。以上です。

○委員長（岩永政則委員）

他に質疑ありませんか。

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

以上で議会事務局を終わります。お疲れ様でした。

暫時休憩をいたします。

（暫時休憩）

○委員長（岩永政則委員）

それでは休憩前に引き続き委員会を行います。監査事務局の審査に入っていきたいと思えます。説明を求めます。

事務局長。

○監査事務局長兼議事課長（富永正彦君）

それでは監査事務局の方の説明をさせていただきます。事項別明細書、歳入はございません。歳出のみでございます。事項別明細書の80、81ページをお開き下さい。2款6項1目監査委員費でございます。歳出総額で921万5,447円となっております。1節報酬でございますけども、監査委員の報酬ということで、識見委員が月額8万3,000円、議選の監査委員が5万5,000円ということで、2人分の報酬でございます。2節3節4節につきましては、職員1名分の給料、手当、共済費でございます。9節旅費につきましては、普通旅費が職員の旅費、費用弁償の方が監査委員の方の費用弁償ということで、監査委員につきましては延べでございますけども59日の117人分ということになっております。需用費と19節の方でございますけども、県町村監査委員協議会負担金と郡の協議会負担金につきましては例年どおりの経常的なものでございます。以上でございます。

○委員長（岩永政則委員）

説明が終わりましたので、質疑を受けたいと思えます。

質疑はありませんか。

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

監査事務局はこれで終わりたいと思えます。

10時10分まで休憩します。

（休憩 9時58分～10時10分）

○委員長（岩永政則委員）

休憩前に引き続き委員会を行っていきたいと思えますが、会計課所管を審査したいと思えます。説明を求めます。

谷本会計管理者。

○会計管理者（谷本清君）

皆さんおはようございます。それでは平成28年度一般会計歳入歳出決算の会計課所管分について御説明いたします。歳入総額4万9,263円、歳出総額3,043万47円でございます。まず歳入から御説明いたします。事項別明細書の36、37ページをお開き下さい。15款財産収入1項財産運用収入2目利子及び配当金でございますが、会計課所管分は備考欄下から4段目の用品調達基金運用収入16円でございます。この基金は普通預金により運用しておりその分の利子でございます。次に42、43ページをお開き下さい。19款諸収入2項町預金利子1目町預金利子でございます。これは一般会計の預金利子9,152円と町県民税などの歳入歳出外現金の預金利子でございます。次に歳出でございます。56、57ページをお開き下さい。2款総務費1項総務管理費4目会計管理費でございます。職員5人分の人件費2,766万6,168円が主な支出でございます。人件費総額で前年度と比べ1,009万1,493円減額となっております。これは管理者が課長兼務となったことで、管理職手当及び給与が減額となったことと、再任用職員が8月末に退職したことが主な要因です。7節賃金は産休代替職員1名を年間通して採用しており会計事務補助をお願いしております。18節備品購入費は加算式計算機3台を購入しております。次に182、183ページをお願いいたします。12款公債費1項公債費2目利子の23節償還金、利子及び割引料の備考欄1番下の一時借入金利子償還金37万2,029円は、3月28日に一般会計15億円、国保会計に5億円を一時借入しました。4月4日に15億円を返済、4月6日に5億円を返済しております。定期預金内の金利が0.550%、定期預金を超えた金額の金利が1.975%となっております。一般会計と国保会計で3対1で案分して、一般会計37万2,029円、国保会計12万4,010円としております。なお、当時の定期預金額は12億3,000万ほどでありました。歳出総額で前年度より850万円ほど減少しておりますが、人件費の減額が主な要因です。

次に189、190ページの財産に関する調書、4基金のうち（二）用品調達基金です。本年度の購入額44万1,080円、売上が54万3,125円です。封筒、起案用紙、納入済通知書、請求兼領収書を会計課で一括して購入しております。現金と物品総額100万円で運用しております。以上、簡単でございますが説明とさせていただきます。御審議のほどよろしく願いいたします。

○委員長（岩永政則委員）

説明が終わりましたので、質疑を受けたいと思います。

質疑ありませんか。36ページからです。

喜々津委員。

○委員（喜々津英世委員）

36、37ページの2目利子及び配当金、ここで収入済額が129万9,117円、

去年が300万ぐらいでしたので非常に収入済額が減少しておると。1番上の基金の残高も期末残高では6,300万程度減をしております。この基金の平均残高が幾らあるか分かりませんが、恐らくこの基金の減少が利子の減少につながっていることは間違いないと思うんですが、会計管理者としてどう分析をされてるのかお尋ねをします。

○委員長（岩永政則委員）

谷本管理者。

○会計管理者（谷本清君）

お答えいたします。ただいま委員おっしゃったとおり基金現在高の減少も影響しておりますが、平成27年度の定期預金の利率を見ますと0.075%というのが主な取引先での金利でしたが、28年度になりまして0.050%に減少しております。そういったことを含めて利子の収入減につながったと考えております。以上です。

○委員長（岩永政則委員）

いいですか。他に。歳入歳出含めて結構です。ありませんか。

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

会計課、お疲れ様でした。ありがとうございました。

10時30分まで休憩いたします。

（休憩 10時19分～10時30分）

○委員長（岩永政則委員）

休憩前に引き続き委員会を行います。農業委員会所管の審査に入っていきたいと思えます。

和田事務局長の説明を求めます。

○農業委員会事務局長（和田弘君）

おはようございます。連日の御審議お疲れ様でございます。それでは平成28年度長与町一般会計決算書の農業委員会所管分の歳入歳出について着座して説明いたします。まずはじめに歳入歳出それぞれの総額について申し上げます。歳入総額は388万9,200円で、前年度382万6,471円と比較しますと農業委員会交付金1万4,000円の増、農地集積集約化対策費補助金の1万2,750円の減、農業者年金事務委託手数料の6万1,479円の増で、合計6万2,729円の増額となっております。歳出総額につきましては3,225万5,548円で、同様に前年度と比較しますと25万9,049円の増額となっています。主なものとしましては、金額の多い少ないはありますが、給料が30万2,940円の増、職員手当等が10万3,283円の増、共済費8万7,093円の増、委託料が31万5,820円の減となっております。

続きまして、歳入歳出決算事項別明細書の説明をいたします。まず歳入から申し上げます。歳入の32、33ページをお開き下さい。14款2項4目1節農業費補助金、備考欄、農業委員会交付金138万3,000円です。同じくその下7番目の農地集積・集約化対策費補助金230万3,200円です。次に42、43ページをお開き下さい。

19款5項1目1節雑入です。備考欄の上から5段目農業者年金事務委託手数料20万3,000円の1件でございます。

続きまして歳出に移ります。120、121ページをお開き下さい。6款1項1目農業委員会費です。1節報酬ですが備考欄を御覧下さい。農業委員会会長1名、委員15名の年間の報酬です。次に8節報償費ですが農地利用状況調査謝礼です。農業委員を含めた調査員30名によりまして、8月から10月までの間に農地の利用状況の調査を行っていただいております。その経費が主なものです。なお、この調査に対する謝礼は農地集積集約化対策費補助金で同額の184万9,600円を充当しております。次に13節委託料ですが、通常が必要経費及び定期的な農家台帳システムの保守委託料として58万3,200円を支出しています。次に14節使用料及び賃借料の自動車借上料ですが農業委員研修時のバスの借上料です。同じく電算機器借上料については、平成27年2月1日から平成32年1月31日までの5年間リースで28年度支出額は18万1,440円です。次に122ページ、123ページをお開き下さい。最後に19節負担金、補助及び交付金につきましては昨年と同額の支出となっております。以上で説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（岩永政則委員）

説明が終わりましたので質疑を受けたいと思います。歳入歳出いずれでも結構です。質疑はありませんか。32ページからです。

喜々津委員。

○委員（喜々津英世委員）

43ページの農業者年金事務委託手数料20万3,000円ということで昨年よりも6万ばかり増えとるんですが、この理由は何なのか。

○委員長（岩永政則委員）

村田課長補佐。

○課長補佐（村田佳美君）

農業者年金事務委託手数料の増額につきましては、前年度までは人件費の給与の方を充当しておりませんでした。今回から給与の方を充当するようになりまして増額になっております。

○委員長（岩永政則委員）

喜々津委員。

○委員（喜々津英世委員）

農業者年金の加入した人が増えたということじゃなくて、そういう補助の関係で増えたということですか。もう一度お願いします。

○委員長（岩永政則委員）

村田課長補佐。

○課長補佐（村田佳美君）

農業者年金の加入の数が増えたので増額したわけではなく、職員の給与の分として事務委託手数料の方が増額になりましたので今回増額になっております。

○委員長（岩永政則委員）

他にありませんか。

堤委員。

○委員（堤理志委員）

121ページの農地利用状況調査謝礼に関連してお伺いをしたいと思うんですが、予算の時も聞いたんですが、遊休農地の面積が27年、28年の比較の数字があればお知らせいただきたいのと、町内の農地面積に対する割合も分かればよろしいでしょうか。

○委員長（岩永政則委員）

和田局長。

○農業委員会事務局長（和田弘君）

先程の質問ですけれども、まず調査対象農地28年度が9,577筆で面積が859万6,184平米、27年度が9,596筆で面積が861万3,448平米、マイナスの19筆とマイナスの11万7,264平米です。それともう1つが割合は手元に無いものですから、後で報告いたします。

○委員長（岩永政則委員）

村田課長補佐。

○課長補佐（村田佳美君）

町内の遊休農地の面積の方を御報告いたします。平成28年度1,038筆で76万7,777平方メートル。平成27年度につきましては1,103筆で83万2,525平方メートルです。

○委員長（岩永政則委員）

堤委員。

○委員（堤理志委員）

実は28年度の予算の時にもそういうことをお聞きして、その時に今後の傾向については緩やかな増加傾向だというふうにお聞きしたんですが、28年度の決算を今お聞きしたところ減少傾向なんですかね。若干増加したけども28年度決算受けたら少し減少ということで理解したらよろしいんでしょうか。

○委員長（岩永政則委員）

村田課長補佐。

○課長補佐（村田佳美君）

現在遊休農地で言いますと減少傾向にあるんですけども、もう既に山林化して非農地になった面積につきまして数値の方を御報告いたしますが、平成28年度が1,542筆の175万3,484平米で、平成27年度が1,445筆の165万5,256平米になりますので、9万8,228平米ほど山林化した農地が増えておりまして、その

分につきましては農地ではないというふうに判断をしております。

○委員長（岩永政則委員）

他に。質疑ありませんか。

堤委員。

○委員（堤理志委員）

今、移住促進ということでいろいろ取り組まれた中の1つとして、新たな新規就農というのもやられて、確か今年度ですか1名とか、そういう数字があったと思うんですが、新規就農よりもやはりもう農業を高齢化等々でできなくなっていく人の方が増えているというような見方になるのか、この辺り分かればお聞かせいただければと思います。

○委員長（岩永政則委員）

和田局長。

○農業委員会事務局長（和田弘君）

委員がおっしゃるとおり、やっぱり高齢化が来まして耕作できないという方がいらっしやいまして、その辺りがまた徐々に出てきてるのかなと思います。それで今、農地中間管理ということで農地を自分で耕作できないとか、ちょっと貸したいという方があれば、中間の方にそういうシステムもできておりますので、そちらに移行していくんじゃないかなと思っております。以上です。

○委員長（岩永政則委員）

いいですか。他に。質疑ありませんか。いいですか。

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

農業委員会お疲れ様でした。ありがとうございました。

50分まで休憩します。

（休憩 10時43分～11時06分）

○委員長（岩永政則委員）

それでは、休憩前に引き続き委員会を行います。審査につきましては大体全部、終了したようでございますので、本日はこれにて総務常任委員会を散会といたします。

お疲れ様でした。

（散会 11時06分）